

～ よりよい進路選択をめざして… ～

10月7日(月)から始まる三者面談では、現在の状況を確認し、今後の方向性を相談させていただきたいと考えています。そして11月の三者面談では、いよいよ私立の受験校の相談をすることになります。多くの高校等は1月以降に入試が実施されますが、学校によっては、11月や12月に実施するところもあります。そのため、今後はより詳細な情報を早めに確認しておくことはもちろん、自分が高校等に求めるものの順位も決めておく必要があります。

大切な3年間をどう充実させるのか？ そのためには何を優先させるのか？ 卒業後の方向性も加味しながら、本人にとってよりプラスとなる進路を選択したいものです。

そのためには、授業内容(コース)、施設の充実度、大学への進学率、希望する部活動がある、通学時間(経路)、経費(交通費を含む)、雰囲気、学習成績、本人の希望、保護者の希望…できる限りの情報を収集し、比較・検討することが大切です。

ところが、よりよい方向に進んで欲しいと願う保護者の気持ちが本人に伝わっていなかったり、周囲に気を遣うあまり、本人が本当の気持ちを言えていなかったり…互いを大切に思っているからこそ、相談が進まない…ということもよくあります。

もし、まだなら、互いに正直に本音で話してみてもいいでしょう。「実は〇〇のために△△高校に行きたい。」「将来は(高校では)◇◇をやりたい。」「高校には行きたいけどまだ特にやりたいことはない。」「…どんな本音であろうとも、周囲は“本人の本音”に寄り添ったアドバイスや提案をしてくれるはず。また、「あなたにはこのように(幸せに)なって欲しい」という保護者の願いも、きっと理解することができると思います。

本人も保護者も100%納得できる進路選択ができればよいのですが、そううまくはいかないのが現実です。何かを優先すれば他方は少し妥協する。そんなことの繰り返しで折り合いをつけ、選択していくことになります。ですから、「優先順位」や「譲れない」ことがはっきりしていることはとても大切になります。

10月中旬までに各私立・公立高等学校の入試要項の詳細が発表されます。それを踏まえて10月22日(火)に第2回進路説明会を実施し、11月12日(火)からの三者面談では、主に私立の受験校の相談をさせていただくことになります。そして11月中には、私立の受験校を決定することになります。

2学期が始まり1ヵ月が経過しました。3学年の教室では、実力テストの結果や進路選択への不安が募る中、自身の進路を切り開くために頑張っている姿が見られます。しかし、係活動をはじめ、他の学校生活に決して手を抜くことはありません。そんな生徒を我々職員は心から応援しています。苦しいときには1人で悩まず、我々職員にも是非声をかけてください。何らかの力になれると信じています。44人全員がよりよい進路に進めるよう、みんなで頑張っていきましょう。

進路についての確認事項



<公立高校>

- 受検できるのは1校のみ。学区もある。
- 試験の内容や選抜方法は、すべての高校で同じわけではない。(→確認を)

<私立高校>

- 受験日が異なれば何校でも受験できる。学区はない。
- 単願(専願)とは、「その高校だけしか受験しない」という意味であるが、「その高校を第1希望で受験し、合格の場合は必ず入学する」という意味で使われることも多い。
- 併願とは、「その学校だけでなく、他にも受験する学校がある」という意味であるが、「その高校を第2希望以下で受験する」という意味で使う場合もある。
- 推薦とは、学校長推薦のこと。他の推薦制度がある私立高校もある。
- 併願推薦とは、多くの場合「その私立高校を第2希望で受験する場合の推薦制度のこと」。この制度を利用して合格した場合は、第1希望の学校が不合格の際は、第2希望の私立高校に必ず入学する」という約束のもとに推薦受験をする制度。

➡私立高校の受験制度については、各学校で扱いが異なるため、必ず確認のこと。

■「推薦」は全ての私立高校で行われているわけではない。また「推薦候補者」になっても、必ず合格するというわけではない。

■希望者全員が、推薦で受験できるわけではない。

- ➡基準がある。(学習成績・欠席日数・特別活動・生活態度…等)
- ➡推薦候補者の校内選考を行う。(面接…等)

